

# 早い安い国際水準のアスベスト分析NEWS

アスベストテストングサービス

e-ASTES.com

3

「分析精度管理が急務」

[http://www.kankyo-news.co.jp/ps/qn/usr/db/d\\_file1-0002-0569.pdf](http://www.kankyo-news.co.jp/ps/qn/usr/db/d_file1-0002-0569.pdf)

【アスベスト問題の波紋】(環境新聞)

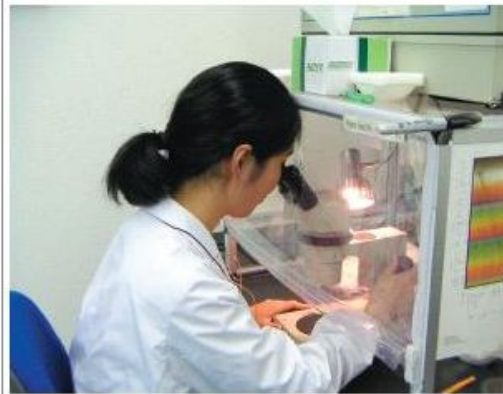
## アスベスト

# 問題の波紋

建材製品中アスベスト含有率測定法に関する日本工業規格(JIS A148)の改定作業が大詰めを迎える中、定性分析のうち偏光顕微鏡法が外される方向にあることが議論を呼んでいる。各物質特有の屈折率を調べて同定することから、より確実性が得られず手法として「欧米では一般的」なもの、国内で技術的な蓄積が進んでこなかったことなどが理由。しかし、「位相差顕微鏡やX線回折法だけでは不完全」との懸念も指摘されている。

偏光顕微鏡による消光角を持つ物質は、光を当てると法は「試料の形状及び結晶 屈折する性質がある。屈折性を持つ試料において特有 率は各物質でそれぞれ異なる消光角があり、それによるため、偏光顕微鏡法はアスベストの有無を織の屈折率から対象物質を同定する」手法。結晶構造を定する仕組み。国内で一般

## 建材製品測定法 JIS の改定大詰め



米国では、訴訟などの際に分析結果の科学的根拠が厳しく追求される(写真提供=アースアプレイザル)

# 偏光顕微鏡「外し」に懸念

的になりつつある位相差顕微鏡に、試薬を使って何層も分散染色法と組み合わせ、分散染色法による分散染色法による確認が必要がないほか、ば、「より確実性が増す」分析データも技術的な蓄積が少なくないためだ。このことのできない位相差顕微鏡は不完全。米国ではほとんどの場合、位相差顕微鏡と偏光顕微鏡の導入を閉ざすことを使われないと指すものではない」と話す。た

結果、定性分析は、位相差顕微鏡による分散染色法とX線回折分析法の二本立てで固まりつつある。JISで一般的に用いられている偏光顕微鏡法は、国内の現行JISにも盛り込まれていない。

しかし、複数の関係者によると、今回の改定に当たっては、偏光顕微鏡法は「アスベストを拡大させる構造になっていく」と懸念している。十九日には同JIS改定(本紙特別取材班)

「無害化物分析へは適用困難」

「これに対し、米国事情は、前処理で残留率を0.1%以下に引き下げることで、重量が超えられなくても「あり」と判定されること。また、作業環境測定と大気環境測定との違いも、偏光顕微鏡法は「アスベストを拡大させる構造になっていく」と懸念している。十九日には同JIS改定(本紙特別取材班)

あらたな企業責任を生じさせないために！

アスベスト分析分野において公定法が揺らいでいます。昨年の8月に偏光顕微鏡による分析が認められたが、今度は外すかも知れないという報道です。理由は技術の蓄積がないという。米国ではより確実な手法として一般的です。日本の分析技術の遅れでアスベストによる二次被害が一層危惧されるのであります。

日本公定法による十分な分析方法を続けますか。アスベスト分析依頼に責任を持つ御社は従業員、近隣の方への健康を守っていただけますでしょうか。健康被害の加害者となるリスクを負っています。プロが係る以上は知らずには済まされたいのです。

## 偏光顕微鏡による分析がなんと！

株式会社環境検査の厳しい米国EPA基準、NIIST(米商務省)及びISO17025認定の米国アスベスト専門分析機関と業務提携した最高水準のアスベスト分析サービスを提供。特長は

- ビジネススピードというスピーディな報告
- リーディングな価格
- 重量含有率の高精度
- 0.1%の精度
- 1検体2名分析
- 分析責任保険加入

クロシドライト、アモサイト、アスベスト分析は本市場にないこととされる。トレモライト、アクトノライトの全アスベスト類を分析します。

● 検査体制は博士取得者初め、全員自然科学、物理学学位取得

● 分析官の経験年数(平均15年)

● 1検体2名分析

● 分析責任保険加入

用途

- 建材製品中(レベル1、2、3)定性・定量分析
- 偏光顕微鏡：27,500円
- 偏光顕微鏡+透過電子顕微鏡：62,500円
- 検体受領後3営業日以内に定性分析はJIS A1481に準拠
- 土壌中定性・定量分析：85,500円

● ブルータイガーズアイ

クロシドライト(青石綿)が、一部珪酸によって置換されて、繊維質のクオーツとなった混合石です。

ジェリーストーンとして、金運、仕事運、健康運などを良くする力があるとされ、私にも飾って楽しんでいきます。

<http://homepage2.nifty.com/ecokaitai/sakusaku/4hoseki.htm>

問い合わせ先 (株)トライフォースコーポレーション  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-4-7  
第二彦田ビル3階  
TEL03-6206-8595 FAX03-3252-2313  
E-mail [inada@triforce-corp.co.jp](mailto:inada@triforce-corp.co.jp)